



特定非営利活動法人 京都舞台芸術協会

2023 年度 定例総会

～資料～

本年度定例総会はオンラインビデオチャット方式で行います

とき：2023年5月28日（日）10:00～12:00（ビデオチャットは9:50より開設）

※ご出席方法などは別紙案内をご覧ください

次第

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長の選任（P. 2）
4. 議事（審議事項）
 - ・ 第1号議案 2022年度 活動報告（P. 2）
 - ・ 第2号議案 2022年度 収支決算報告（P. 10）
～会計監査報告～（P. 11）
 - ・ 第3号議案 2023年度 活動計画（案）（P. 12）
 - ・ 第4号議案 2023年度 収支予算（案）（P. 17）
5. 会議録（理事会）（P. 18）
6. 議事録署名人の選任（P. 18）
7. 閉会

議長の選任

定款第26条にもとづき、総会出席者の中から議事をすすめる議長を選出します。
以降、議長は総会の進行を務めます。

■ 定款 第26条

第5章 総会
(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

第1号議案 2022年度活動報告

2022年度に京都舞台芸術協会が行った活動

■ A 互助事業

- ① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営
- ② 【継続】「創作活動」と「労働環境」の関係性を探るリサーチ
- ③ 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

■ B 企画事業

- ① 【継続】インターンシップの受入
- ② 【継続】俳優のためのワークショップ企画「”あなた”と”表現”を生かす『からだの使い方』——アレクサンダー・テクニックにできること」2022
- ③ 【継続】京都舞台芸術協会アーカイブ
- ④ 【新規】舞台芸術と「性的表現」について考えるレクチャー・ワークショップ

■ C 連携事業

- ① 【継続】THEATRE E9 KYOTO×京都舞台芸術協会ショーケース企画“Continue”
- ② 【継続】「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦
- ③ 【継続】各団体への後援、共催など
- ④ 【新規】ステージ インキュベーション キョウト 舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ⑤ 【新規】関係づくりを学ぶ！現場で使える契約講座

■ D 発信事業

- 【継続】情報発信（WEB サイト・会報・総合チラシ）

A 互助事業

① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営

■ 実施内容

日時：通年

形態：協会 WEB サイトに専用メールフォームを設置、および代表メールアドレス宛の問合せ対応

2022 年度相談件数 : 2

■ 目的

2018 年度から継続して、京都における舞台芸術活動に関わる相談を受け付ける「なんでも相談窓口」のメールフォームをウェブサイト上に設置、運用。相談者個別の問題の解決をサポートすると同時に、その問題が多くの人にとっても共通する課題である場合には、その課題解決に資する事業を次年度以降に組み込む等、インフラとしての機能をより強化する。

■ 成果と課題

2022 年度は 2 件の相談が寄せられ、21 年度の 5 件からは減少となった。件数の多寡がすなわち事業の成否に結びつけられる質の事業ではないが、窓口の存在が行き渡っていないがゆえに件数が減ったという可能性もあるため、引き続き事業の広報につとめていきたい。

② 【継続】「創作活動」と「労働環境」の関係性を探るリサーチ

■ 実施状況

労働に関する専門家を招いてのレクチャーとディスカッションイベントを計画していたが、担当理事である北方がスケジュールを調整できず実施することができなかった。実施予定時期に向けて少しずつでも計画を進めていくべきだった。今一度、大きく広げずに、継続して取り組める企画を考え直したい

③ 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

■ 目的

前年度に引き続き、交流会事業を行う。舞台芸術に携わる方や興味のある方を多様につなぐハブとしての役割を果たすため、協会員同士の、また協会員と非協会員との接点を見つめ、各自の問題意識のすり合わせや課題の共有を主体的に行うための場づくりを行う。また、協会そのものや協会の事業について知って頂く入り口としての位置づけも果たす。

■ 実施内容

「京都という創作環境をめぐる vol. 5」

日時：2022 年 7 月 21 日(木) 20:00~22:00

会場：オンライン会議ツール「zoom」ミーティングルーム

参加費：無料

参加者：19 名

「月 1 だべりば」

日時：

[Twitter 開催]

2022 年

5 月 18 日(水) 20:00~21:00、8 月 14 日(日) 19:30~21:00、10 月 24 日(月) 19:30~21:00、

12 月 23 日(金) 19:30~21:00、2023 年 3 月 27 日(月) 19:30~20:30

[Zoom 開催]

2022 年

7 月 13 日(水) 19:30~21:00、9 月 13 日(月) 19:30~21:00、11 月 22 日(火) 19:30~21:00、

2023年2月14日（火） 10:00～11:30、4月11日（火） 10:00～11:00

会場：オンライン会議ツール「zoom」ミーティングルームと「Twitter」のスペース機能を交互

参加費：無料

参加者：10回合計132名

「月1だべりば〈番外編〉」～世代を越えて語り合おう～/インターン生企画

日時：

2023年3月20日（月）18:30～20:30

会場：京都市東山青少年活動センターロビー

参加費：無料

参加者：14名

協力：京都市東山青少年活動センター（ステージサポートプラン ロビー企画）

■ 成果と課題

2022年度は計12回交流会を実施した。うち1回は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防の観点からオンラインで実施したが、緊急事態舞台芸術ネットワーク「舞台芸術における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の改訂などを受け3月20日実施の月1だべりば〈番外編〉は2019年以来4年ぶりの対面交流会となった。2018年以降同じテーマで続けている「京都という創作環境をめぐる」は創作環境を支える施設や中間支援組織などで働く方々と実演家が繋がる機会として役割をはたしている。また沖縄、豊岡、名古屋、豊橋、東京と、京都以外からの参加も多く得られたのが印象的で、地域を超えた交流のきっかけになりうるオンライン実施のメリットが実感できた。

2022年度の「月1だべりば」は隔月でZoomとTwitterのスペース機能を交互に使用して開催したが、Zoomでは予約制少人数での交流会の良さとして参加者からの発言が得やすい一方で、Twitterのスペース機能を使用したものでは参加者の繋がりから直接フォロー関係にない人の参加も多く、その場で協会のアカウントをフォローしてもらえるなど協会活動の周知や交流の継続に繋がっている。

オンライン交流会と対面での交流会、オンラインでも使用するツールの特徴によって長所と短所が明確にわかっており、使い分けをしながらより目的に沿った内容で交流会を行っていけるように継続して検討していきたい。

B 企画事業

① 【継続】インターンシップ受入

■ 実施内容

公募によって2名のインターン生を選定。2022年7月～2023年5月までの期間、以下のような活動を行った。

〈主な活動内容〉

- ・毎月の理事会への参加と議事録の担当
- ・主催事業へのスタッフ参加
- ・京都の舞台芸術関係施設（THEATRE E9 KYOTO、京都芸術センター、HAPS）の訪問
- ・イベント「月一だべりば〈番外編〉～世代を超えて語り合おう～」@東山青少年活動センターの企画実施

〈スケジュール〉

5月20日～6月15日 インターンシップ生の公募 ※5月31日 オンライン説明会の実施

6月15日～7月上旬 面接と選考

7月中旬 活動スタート

9月5日 主催事業（「俳優のためのワークショップ”あなた”と”表現”を生かす『からだの使い方』——アレクサンダー・テクニクにできること」2022）へのスタッフ参加。

11月24日 京都芸術センターへの訪問

12月15日 THEATRE E9 KYOTO への訪問

1月6日 協会資料整理および目録の作成

1月中旬～3月20日 「月一だべりば〈番外編〉～世代を超えて語り合おう～」の準備、実施

4月15日 HAPS オフィスへの訪問

■ 目的

若手の育成の場として、また協会として若手との繋がりを増やすことも意識しながら、2021年度から継続して実施した。インターンシップ生に京都の舞台芸術にまつわる人／場所／創造環境／歴史等について知ってもらい、各々で今後の活動に活かしてもらえる機会となることを目指した。

■ 課題と成果

今年度のインターン生は、すでに積極的に活動しているからこそ、俳優・演出・制作といった役割にとどまらず、様々な視点でインターン活動に取り組んでいた。協会としても彼らの興味関心に合わせることを意識し、積極的にコミュニケーションを取る機会を設けた。結果、インターン生による企画イベントが実現し、実践を通じた経験としての学びの機会を提供することができた。また、イベントに若手の参加者が集まったことで、さらなる繋がりが生まれたことも成果の一つと考えている。

京都芸術センター、THEATRE E9 KYOTO、HAPS の訪問については、協会の web ページにインターン生による活動レポートを掲載している。若手ならではの視点を知ることもでき、次年度以降も継続していきたい。

② 【継続】俳優のためのワークショップ企画「“あなた”と”表現”を生かす『からだの使い方』——アレクサンダー・テクニクにできること」2022

■ 実施内容

日時：2022年9月5日（月）18:30～20:30

会場：京都市中央青少年活動センター 和室

講師：芳野香氏

参加費：2,500円（協会員は500円OFF）

参加者：9名

■ 成果と課題

舞台に立つ俳優が「からだの使い方を学ぶ」ことの意義や具体的な方法に迫るワークショップ企画の第3弾。前年度までは新型コロナの感染状況を考慮しオンラインで行ったが、今回は対面で実施した。講師は前回までに引き続き「ATC スタジオK」主宰の芳野香先生。参加者は会員4名・非会員5名の計9名。協会スタッフとして、インターンシップ生も2名参加した。

テーマは、『声』で届ける・『声』を届ける。「声」は、舞台に立つ俳優にとって最も重要で、かつ最も難しい問題のひとつといえる。今回は、「声」について参加者それぞれがこれまでにしてきたことを整理して生かしながら、安定した俳優の実力につながる「声の出し方・使い方」に迫ることを目指した。

骨格模型を使って身体構造への理解を深めたり、「いつもの準備」をより効果的に行う方法を探ったり、マッサージの方法を学んだり、充実したワークとなった。ただ、テーマの大きさゆえに2時間のワークを1度実施しただけでは手の届かない部分も多く感じた。今回のような学びを何度も積み重ねて行けば、ひとりひとりの表現の可能性は確実に広がると思われる。参加者からも続きを受講したいとの声があったので、今年度も実施できるのであれば、内容・時間・会場等の各条件をよりグレードアップできるよう検討したいと考えている。



③ 【継続】 京都舞台芸術協会アーカイブ

■ 目的

協会の歴史を辿り直すことで、京都における舞台芸術の状況の変遷を概観し、それをもとに対話を広げていくことで、将来に向けて協会がどのような組織であるべきか、また京都の環境がどのように変わっていくべきかの指針をあらためて検討する。

■ 取り組み

年表などを作成していくための第一歩として、協会の資料として保管されていた荷物をインターン生とともにひもといいた。荷物には設立当初の書類や会報のバックナンバーなどが含まれており、それを一度すべて分類し目録を作成した。今後は、資料から読みとける情報をもとにWEB上にアーカイブページを作成し、協会の歩みをご存知の方々に公開でインタビューするなどの企画を行っていきたい。

④ 【新規】 舞台芸術と「性的表現」について考えるレクチャー・ワークショップ

■ 実施内容

日時：3月7日(火)18:30～21:00

3月18日(土)14:00～16:30

会場：京都芸術センター ミーティングルーム2 および オンライン

参加者：7日34名、18日39名、計73名

参加費：無料

レクチャー講師：堀あきこ（関西大学ほか非常勤講師）

主催：京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、NPO 法人京都舞台芸術協会

■ 目的

個人からの提案があったことをきっかけに、京都芸術センターと共同主催で開催。

作品の中で性的表現を扱うときにどのようなことに注意をすべきなのかを考えることだけでなく、「性的表現」とは何なのかという基本的なことから勉強する機会として企画された。今回だけに限らず、別の分野の講師も招き、数回にわたって今後行う予定。

■ 成果

堀あきこ先生より、ジェンダーやセクシュアリティと表現についてのレクチャーを受けた後、グループに分かれて意見交換の場をもった。演出家・俳優・テクニカルスタッフ・制作者・プロデューサーなど様々な職種の方が参加され、このテーマへの関心を持っている方が多いということを感じた。

基本的な知識や構造についての話のあと、具体的な事例を参照し、問題点や考慮すべきことについて考え、グループワークでは、それぞれのグループで話されたことに対して堀先生がひとつひとつ丁寧に問題点を解説することで理解を深めることができたと思う。

堀先生や受講された方からも「継続してこのような機会を作ってほしい」との声があったこともあり、このような機会を定期的にすることは必要だと強く感じた。継続できるように、京都芸術センターと協力をしながら検討していきたい。

C 連携事業

① 【継続】 THEATRE E9 KYOTO × 京都舞台芸術協会 ショーケース企画“Continue”

■ 実施形態

ショーケース型公演

参加団体：THE GO AND MO' S、居留守、遊劇舞台二月病

日時：

【A】4月22日(金)19:00 出演：THE GO AND MO' S、居留守

【B】4月23日(土)19:00 出演：居留守、遊劇舞台二月病

【C】4月24日(日)15:00★ 出演：遊劇舞台二月病、THE GO AND MO' S

★3団体によるアフタートークを実施

主催：THEATRE E9 KYOTO（一般社団法人アーツシード京都）

共催：NPO 法人京都舞台芸術協会、NPO 法人大阪現代舞台芸術協会(DIVE)

総動員数：140名

■ 目的

「続けること」をテーマに、同時代にどのような舞台芸術がありうるか、対話とその共有によって可能性を探る。公演準備や関連企画を通じて、舞台芸術に携わる人々のネットワーク形成、観客参加の裾野の拡大など、京都における劇場文化のさらなる発展に寄与する。

■ 成果と課題

2021年度から続けて2度めの開催となった。当協会では共催者として京都舞台芸術協会の会員対象に出演希望団体の公募を実施、また、会員外からの参加団体を推薦した。前回は協力団体であったNPO 法人大阪現代舞台芸術協会(DIVE)が共催者として参画し、DIVE内でも公募を経て出演団体が決定した。コロナ禍の影響もある中で、地域のカンパニーの上演機会を創出できたことは成果だと考えている。また、公演内容としても、各カンパニーの個性がそれぞれ異なり、舞台芸術の表現の幅を示すような観劇体験を観客に提供できた。

② 【継続】「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦

■ 目的

京都市では、2007年度から、芸術家を小中学校へ派遣する事業を始めた（京都市が公益財団法人京都市芸術文化協会に事業委託し、京都市芸術文化協会がアーティストと学校現場の仲介を行う）。その事業が「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」である。専門家集団である京都舞台芸術協会は窓口としての役割を果たし、芸術家の仕事について市民に広く知ってもらい、かつ舞台芸術の魅力をアピールする機会とする。

■ 実施内容

今年度は合計4校の講師推薦を行った。

● 演劇・身体表現

- ・今井秋菜（幻灯劇場）：中学校2年生
- ・大熊ねこ（遊劇体）：小学校4年生
- ・山口恵子：中学2年生

● 演劇・テクニカル

- ・横田宇雄：小学校5年生

今年度は、公募枠だけでなく協会から依頼を行った件もあり、特に演劇ワークショップファシリテーターの育成を見据え、若手へのオファーを積極的に進めた。

③ 【新規】ステージ インキュベーション キョウト 舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～

■ 目的

地域の舞台芸術の専門人材の知識・能力向上や発掘を目指す。特に、ユース層が広い視点でこれからの舞台芸術を考え、志す契機とする。

■ 実施内容

各回ごとに舞台制作、マネジメントに関する講師陣を迎え、舞台芸術プロデュース、舞台制作、マネジメントに関する講座とワークショップを、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会と共に主催した。社会と舞台芸術をむすぶ制作者たちのシゴトのイロハから、舞台芸術における「プロデュース」のカタチまで、全8回の連続講座を開催。各回完結の形で実施したため、通し受講だけでなく、単発受講の申し込みも受け入れて開催し、単発受講者も含めた延べ276名にご参加いただいた。

講座内容 | レクチャー+ワークショップ（各回3時間）

会場 | ロームシアター京都、THEATRE E9 KYOTO

■ 第1回 舞台芸術プロデュースのことはじめ

日程 | 10月12日（水）

講師：渡邊裕史（ソノノチ/ワークショップファシリテーター、演劇制作）

丸井重樹（ロームシアター京都 管理係長）

■ 第2回 ケース1 フェスティバル

日程 | 10月28日（金）

講師：橋本裕介（前 KYOTO EXPERIMENT プログラムディレクター&ファウンダー）※オンライン登壇

■第3回 ケース2 劇団

日程 | 10月31日(月)

講師: 井神拓也(ヨーロッパ企画/株式会社オポス 演劇制作)

本郷麻衣(木ノ下歌舞伎/一般社団法人樹来舎 制作)

中野コナン(安住の地 制作)

■第4回 ケース3 民間劇場

日程 | 11月7日(月)

講師: あごうさとし(THEATRE E9 KYOTO 芸術監督)

横堀ふみ(NPO 法人 DANCE BOX プログラム・ディレクター)

■第5回 身近なことから考える文化政策

日程 | 11月28日(月)

講師: 山本麻友美(京都市文化政策コーディネーター、京都芸術センターアーツアドバイザー)

■第6回 ケース4 公立劇場

日程 | 12月5日(月)

講師: 矢作勝義(穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化プロデューサー)

■第7回 文化政策の基礎知識+α

日程 | 12月12日(月)

講師: 宮崎刀史紀(ロームシアター京都 管理課長)

■第8回 舞台芸術プロデュース3.0 ~なるべく「傾き」のない創作環境のために。これからの働きかたのこと。

日程 | 12月19日(月)

講師: 植松侑子(合同会社 syuz' gen /NPO 法人 Explat)

《プレ企画》

ノイマルクト劇場&市原佐都子/Q「Madama Butterfly」関連企画「ドラマトゥルクの仕事」

日程 | 9月17日(土)

講師: Tine Milz(ノイマルクト劇場)

《番外編》

舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM) 連携企画「Next Producers Meeting in 京都」

日程 | 10月18日(火)

主催: 文化庁、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、京都国際舞台芸術祭実行委員会、NPO 法人京都舞台芸術協会、京都市

協力: 舞台芸術制作者オープンネットワーク ON-PAM

統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

地域の文化芸術関係団体との連携によるアートキャラバン事業(地域連携型) 参加事業

④ 【新規】関係づくりを学ぶ!現場で使える契約講座

■ 概要

文化庁委託事業「芸術家等実務研修事業」のひとつである舞台芸術制作者・プロデューサー向けの研修会「関係づくりを学ぶ!現場で使える契約講座」の京都会場開催について、事務局を担う特定非営利活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)より要請を受け、事前の広報および当日運営に協力した。

「関係づくりを学ぶ！現場で使える契約講座」

【京都会場】

日時 | 2023年2月20日(月) 19:00-21:00

会場 | 京都市勧業館 みやこめっせ 大会議室 (京都市左京区岡崎成勝寺町9-1)

定員 | 40名

受講料 | 無料

講師 | 田島佑規 (弁護士 骨董通り法律事務所、EPAD 権利処理チーフ、緊急事態舞台芸術 ネットワーク事務局)

対象者 | 舞台の制作業務に携わる方 (経験、年齢などは問いません)

お問合せ | 特定非営利活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク info@onpam.net

主催 | 文化庁

令和4年度文化庁委託事業「芸術家等実務研修会」

事務局 | 特定非営利活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク

■ 報告

劇団、芸術文化施設、制作会社、フリーランスなど、さまざまな所属の参加者が20名弱ほど集まった。充実したEラーニング教材の上で、ロールプレイを巧みに取り入れた「契約書を媒介とする模擬交渉ワークショップ」が実施された。2019年度に協会がまとめた<出演交渉、スタッフ委託交渉時>あとで揉めない為のチェックリスト>に通じる内容でもあったように感じる。今後、業界全体で契約書の取り交わしは普及していくと思われる。今回は協力事業であったが、協会としても状況に合わせて知見をアップデートし共有する機会を考えていきたい。

⑤ 【継続】各団体への後援、共催など

■ 共催

演劇ビギナーズユニット2022

期間：2022年6月13日(月)～9月29日(木)

会場：京都市東山青少年活動センター

主催：京都市／公益財団法人 京都市ユースサービス協会

■ 協力

関係づくりを学ぶ！現場で使える契約講座 (京都会場開催分)

D 発信事業

【継続】情報発信 (WEBサイト・会報・事業チラシ)

前年度に引き続き、年2回会報の発行を行った。またWEBサイト及びSNSを活用し、協会で行う事業の情報発信が随時行われた。

「新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた京都の舞台芸術関係者に関する支援情報等まとめ」や「なんでも相談窓口」、「あとで揉めない為のチェックリスト」の定期的なツイートに加え各事業の情報発信が途切れなかった事もあ

り Twitter のフォロワー数は 2021 年度の 367 名から 508 名への 141 名増加に続き、2023 年 4 月 20 日現在で 613 名と 105 名増加した。また、2023 年 5 月 3 日時点での Facebook ページには、「いいね！」は 195 件、フォロワー数は 219 人となっている。

This is the top-left section of the newsletter, showing the header with the title 'Kyoto PAO NEWS LETTER' and the date '京都府公益財団法人ニュースレター 2023年4月号'. Below the header is a grid of small images and text, likely a table of contents or a list of featured articles.

This is the top-middle section of the newsletter, featuring a large photograph of a group of people in a meeting or presentation. The text below the photo is the beginning of an article, starting with '多岐な分野の、2023年度の新報スタート！'.

This is the top-right section of the newsletter, containing a column of text and a small QR code. The text appears to be a continuation of an article or a separate short piece.

This is the top-far-right section of the newsletter, featuring a photograph of a person speaking at a podium. The text below the photo is the beginning of an article, starting with '多岐な分野の、2023年度の新報スタート！'.

第2号議案 2022年度 収支決算報告

2022年度決算

収入

費目	細目	金額	備考
会費	個人会費・団体会員	¥151,000	8個人・11団体
	賛助会費	¥0	
寄付		¥0	なし
助成金		¥0	なし
事業収入		¥20,500	俳優向けWS参加費(会員4名、非会員5名)
前受金			
雑収入		¥10,000	ヒアリング調査協力謝金
当期収入合計		¥181,500	
前年度繰越金		¥130,512	
合計		¥312,012	

支出

費目	細目	金額	備考	
事業費	互助事業	¥0	労働環境のリサーチ(雑費)	
		¥0	交流会事業(会場費・飲食費など)	
	企画事業		¥35,340	俳優向けワークショップ(講師謝金等)
			¥620	協会アーカイブ
		¥9,944	インターン受け入れ	
	連携事業	¥0	E9との共催事業(寄付金、雑費)	
	発信事業		¥19,958	ウェブサイト運用(レンタルサーバー、ドメイン)
			¥4,412	会報作成・発送費
	協賛金	¥10,000	演劇ビギナーズユニット協賛金	
管理費	地代家賃	¥6,240	京都市市民活動総合センターロッカー(中)	
	通信運搬費	¥30,669	郵送費、切手代、Zoom有料アカウントなど	
	印刷製本費	¥0	選挙資料・理事会・総会等書類作成費用	
	消耗品費	¥0		
	租税公課	¥2,742		
	諸会費	¥10,165	京都市芸術文化協会 会費(2022年度)	
	旅費交通費	¥6,132		
	雑費	¥0		
当期支出合計		¥136,222		

当期収支差額	¥45,278
次年度繰り越し金見込み	¥175,790

NPO法人 京都舞台芸術協会 令和5年3月31日現在 貸借対照表

資産	金額	負債・資本	金額
現金	¥19,690	預り金	¥3,063
ゆうちょ銀行	¥287	前受金	¥6,000
郵便振替口座	¥25,765		
京都銀行	¥139,111		
未収金	¥0	前期繰越正味財産	¥130,512
前払金	¥0	当期正味財産増減額	¥45,278
	¥184,853		¥184,853

会計監査報告

監査報告書

特定非営利活動法人京都舞台芸術協会
理事長 丸山 ながら 殿

特定非営利活動法人京都舞台芸術協会の2022年度会計について、通帳・帳簿・領収書を精査し、問題のないことを確認いたしました。

田中遊

2023年5月17日



2023年5月10日

植村純子



第3号議案 2023年度活動計画（案）

2023年度の活動計画（案）

■ A 互助事業

- ① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営
- ② 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

■ B 企画事業

- ① 【継続】インターンの受入
- ② 【継続】俳優のためのワークショップ企画「“あなた”と“表現”を生かす『からだの使い方』——アレクサンダー・テクニクにできること」2023
- ③ 【新規】「ASOVIVA!」
- ④ 【継続】舞台芸術と「性的表現」について考えるレクチャー・ワークショップ

■ C 連携事業

- ① 【継続】舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ② 【継続】「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦
- ③ 【継続】各団体への後援、共催など

■ D 発信事業

- 【継続】情報発信（WEBサイト・会報・SNS）

A 互助事業

① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営

■ 目的

2018年度から継続して、京都における舞台芸術活動に関わる相談を受け付ける「なんでも相談窓口」のメールフォームをウェブサイト上に設置、運用する。相談者個別の問題の解決をサポートすると同時に、その問題が多くの人にとっても共通する課題である場合には、その課題解決に資する事業を次年度以降に組み込む等、インフラとしての協会の機能をより強化する。

■ 概要

「なんでも相談窓口」に寄せられた相談については、理事会および事務局がメールもしくは直接の面談によって対応する。相談内容に応じて、理事および協会のネットワークを活用し、アドバイス、施設・組織・人の紹介などのサポートを行う。また、理事会の知見の範疇を越える内容の場合は、課題解決に対して適切な専門家・機関とつなぐ。

② 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

■ 目的

2018年度より取り組んでいる「交流会」事業を本年度も継続して行う。これまで交流会事業は協会員・非協会員をつなぐ場として、また、協会のことをより深く知るきっかけとして機能してきた。

今年度も、オンラインも活用しながら、テーマ性の強いものとカジュアルなものを並走させることで、協会やネットワークに多様な入口を準備していく

■ 内容

「京都という創作環境をめぐる vol. 6」

創造環境の整備や支援をミッションとする団体等のスタッフを多く招き、実演家も混ざりながら交流や情報交換を行う。

「月1だけりば」

テーマや目的を定めずに行うオンライン交流会。

zoomを利用した参加事前申請制のものに加え、門戸を広げ認知を拡大するためTwitterのスペースを利用した公開の場も設定する。

月に1度の定期的な活動として協会を知ってもらう機会を持つとともに、協会役員と気軽に話せる場所を作り協会の活動を身近に感じてもらう。

■ 予算

オンライン開催：参加費無料

※実施には協会で保持するオンライン会議ツール「Zoom」アカウントを使用する。

対面実施：500円～1500円程度の参加費を徴収（飲食費、会場費に充当）

B 企画事業

① 【継続】 インターンの受入

■ 目的

若手育成の場としてインターンシップの受け入れを実施する。主には舞台芸術活動を志す18歳以上の若手を対象とする。京都の舞台芸術について知ってもらい、活動における選択肢を増やし、各々の舞台芸術への関わり方をインターン生自身で模索する機会となることを目指す。この事業を通じて、協会としても若手と繋がり、彼らにどういった活動支援が重要か検討し、様々な実践へと繋げていきたい。

■ 概要

演劇やダンス、テクニカルスタッフや制作者など分野を問わず、舞台芸術に興味関心がある人、あるいはすでに活動している人、活動を継続してきたい人を対象にインターンシップ生を募集する。活動内容としては、以下を予定している。

- ・毎月の理事会への参加と議事録の担当
- ・主催事業へのスタッフ参加
- ・劇場など舞台芸術関係施設の訪問（現在、4カ所程度を検討中）
- ・インターンシップ活動ごとのレポート作成

また、実際のインターンシップ生の要望に応じて、昨年度同様に実践の場も検討する（昨年度実施「月1だけりば番外編」@東山青少年活動センター）

② 【継続】 俳優のためのワークショップ企画「"あなた"と"表現"を生かす『からだの使

い方』——アレクサンダー・テクニクにできること」2023

■ 目的・ねらい

2020年度より実施している同名ワークショップの第4弾。欧米の舞台芸術専門機関で必須カリキュラムとなっている「アレクサンダー・テクニク」の指導者を招き、「身体の使い方」という視点から、俳優の演技向上のためのレクチャーや身体ワークを行ってもらう。昨年度に引き続き基本的には対面で、状況次第ではオンラインで実施する。

もっと「上手く」なりたいが何をしたらいいのかわからない、漠然と「才能がない」と感じている、努力しているつもりなのに成果を実感できない、身体に不調がある等々、さまざまな問題を抱える俳優にとって新たな扉が開かれる機会となることを目指す。

■ 概要

講師：芳野香氏（アレクサンダー・テクニク・センター スタジオK 主宰）

日程：2023年7月

会場：京都市内

時間：3時間程度

③ 【新規】「ASOVIVA!」

■ 目的

劇場では試しづらい表現に積極的に挑戦し、新たな表現を生む環境を作り出すこと
創作意識を向上させるための、作品作りを前提としない研究・実験の場を提供すること

■ 内容

3日間程度の集中的なワークショップを行う。

「優美な死骸」などシュルレアリスム的な手法も使いつつ、作品やシーンになる前のアイデアを、参加者持ち寄りの材料と機材を使って演劇表現に起こすことで「演劇で遊ぶ」ことを試みる。今年度は実験的に開催し、参加者公募は行わない。

■ 開催時期

2023年7月～8月に2回程度

■ 参加者

最大10人程度。

直接声をかけた参加者と協会希望者のみを想定。

④ 【継続】舞台芸術と「性的表現」について考えるレクチャー・ワークショップ

■ 目的

創作における「性的表現」にまつわる知識や、それらを扱う際にどういった配慮や熟考が必要なのかについての学びの機会を、京都芸術センターとの共同主催にて開催予定。専門家のレクチャーや参加者同士の対話型ワークショップ等を通じて、考え合い話し合う場の創造を目的とする。昨年度からの継続で、前回とは専門性が少し異なる専門家等を講師に招き、数回にわたって実施する。

■ 実施内容

京都芸術センターおよび関係者との協議を経て、実施内容を決定する。

C 連携事業

① 【継続】舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～

■ 目的

地域の舞台芸術の専門人材の知識・能力向上や発掘を目指す。特に、ユース層が広い視点でこれからの舞台芸術を考え、志す契機とする。

■ 内容

昨年度の事業を踏まえ、制作者向けの連続講座をロームシアター京都、KYOTO EXPERIMENT と共同主催で実施する。実施は年度後半を予定、詳細についてはこれから検討・調整を進めていく。

② 【継続】「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦

■ 目的

専門家集団である京都舞台芸術協会の窓口としての役割を果たし、市民に広く舞台芸術の魅力をアピールする

■ 概要

京都市では、2007年度から、芸術家を小中学校へ派遣する事業を始めた（京都市が公益財団法人京都市芸術文化協会に事業委託し、京都市芸術文化協会がアーティストと学校現場の仲介を行う）。伝統芸能から生活芸術、現代芸術（演劇・ダンス）まで、幅広いジャンルの芸術家を派遣して子どもたちに「授業」を行い、優れた文化芸術の「ほんもの」に触れる機会を創出することによって、文化芸術に親しむきっかけを創り、豊かな感性や人間性を育むとともに、その中から文化芸術の次代の担い手が出てくることを目指す。

⑤ 【継続】各団体への後援、共催など

前年度同様、随時募集し、理事会にて審議し承認する。

D 発信事業

【継続】情報発信（WEB サイト・会報・SNS）

前年度に引き続き、年2回の会報の発行とWEBサイト及びSNSでの発信を活用し、協会の活動内容の可視化に努める。WEBサイトはロゴも含めリニューアルし、訪問者にとって見やすい、協会の取り組んでいることがわかりやすいデザインへと移行する。

また、「京都舞台芸術協会」設立25年を機に協会がこれまで行ってきた事をリサーチし、京都舞台芸術協会のあゆみとしてWEBサイトにアーカイブする。

第4号議案 2023年度 収支予算（案）

特定非営利活動法人京都舞台芸術協会 2023年度予算

収入

費目	細目	金額	備考
会費	個人、団体	¥174,000	29個人団体×6,000円
事業収入	交流会事業	¥15,000	参加費1000円×15人
	俳優向けWS参加費	¥29,000	参加費2,500円×10人(非協会員)、2,000円×2人(協会員)
助成金		¥0	
当期収入合計		¥218,000	
前年度繰越金		¥175,790	
合計		¥393,790	

支出

費目	細目	金額	備考
事業費			
	互助事業	¥15,000	交流会事業(会場費・飲食費など)
	企画事業	¥36,000	俳優向けワークショップ(講師謝金等)
		¥0	協会アーカイブ
		¥6,000	ASOVIVA!
		¥21,000	インターン受け入れ
	発信事業	¥7,784	ウェブサイト運用(レンタルサーバー、ドメイン)
		¥20,000	会報作成・発送費
	協賛金	¥10,000	演劇ビギナーズユニット協賛金
管理費			
	地代家賃	¥6,240	京都市市民活動総合センターロッカー(中)
	通信運搬費	¥32,000	郵送費、切手代、Zoom有料アカウントなど
	印刷製本費	¥4,000	選挙資料・理事会・総会等書類作成費用
	消耗品費	¥7,500	事務用品
	租税公課	¥7,500	印紙など
	諸会費	¥10,000	京都市芸術文化協会 会費
	旅費交通費	¥15,000	事務局交通費など
	雑費	¥5,000	
当期支出合計		¥203,024	

当期収支差額	¥14,976
次年度繰り越し金見込み	¥190,766

会議録（理事会）

2022年度、下記の日程で理事会を実施した。

■ 実施日時

2022年

4月5日	19:00-21:30	於・オンライン (Skype)
5月9日	19:00-21:30	於・オンライン (Zoom ミーティング)
6月22日	19:00-21:30	於・オンライン (Zoom ミーティング)
7月24日	19:00-22:00	於・京都市市民活動総合センター
8月24日	10:00-13:00	於・オンライン (Zoom ミーティング)
9月22日	10:00-13:00	於・オンライン (Zoom ミーティング)
10月27日	10:00-13:00	於・オンライン (Zoom ミーティング)
11月28日	10:00-12:00	於・オンライン (Zoom ミーティング)
12月28日	15:30-17:00	於・オンライン (Zoom ミーティング)
12月27日	19:30-21:00	於・オンライン (Zoom ミーティング)

2023年

1月14日	10:00-12:00	於・オンライン (Zoom ミーティング)
2月17日	9:30-11:30	於・オンライン (Zoom ミーティング)
3月23日	18:30-21:00	於・京都市市民活動総合センター

議事録署名人の選任

以上の議事をもとに議事録を作成し、議長が選出した署名人が署名・捺印をし、所轄庁に議事録を提出します。

■ 定款の該当項目

第5章 総会

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者又はオンライン会議システムによる表決者がある場合にあっては、その数を付記すること）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。